

全国農政連推薦・県農政連公認
参議院議員藤木しんやの

永田町でも「百姓宣言」

「明るい社会の実現に向け」

【あの日から5年目の春】

熊本地震の発生から5年が経過しました。毎年行われている熊本地震犠牲者追悼式は、昨年と同様で新型コロナウイルス感染症防止の観点から規模縮小で開催されました。

5年前のあの日、前震が発生した14日の夜、JAかみまじきの組合長であった私は、夏に控える参議院選挙の立候補予定者として滞在していた岐阜県で大地震の発生を知りました。あの時は、とにかく地元熊本のこと、組合員のこと、JAのこと、そして家族のことが頭をぐるぐる駆け巡りました。

翌日の早朝には地元へ戻り、職員による被害調査や自衛隊へ炊き出し用の米を提供、県内外から届いた支援物資を避難所に届けるなど、緊急時こそ住民の生活基盤としてのJAの役割を果たし、被災者への支援を行っていたこと、今でも震災当時の記憶を決して忘れることはありません。

あの日から早いもので5年の歳月が経ちましたが、つい昨日のことのように思い出します。これから先も創造的復興に取り組むなか、新型コロナウイルスの影響もあり、乗り越えなければならぬ難局が続きますが、力を合わせて頑張りましょう。

【予算委員会で質疑に立つ】

3月19日の参議院予算委員会にて、

菅総理大臣はじめ関係閣僚も出席する集中審議の場に初めて質疑に立ち、32分間の割当時間のなか、農業分野のみならず新型コロナウイルス関連で厚生連病院の経営対策や観光・旅行事業対策、地方創生などを質問しました。

菅総理への質疑では、人口減少・高齢化が進む地域が増えるなか、地域や農地を守るために多くの農家が農業経営を続けている。力強い日本農業を構築するために今後の農業・農村政策についての考えを問いました。総理からは農業でいかに所得を増やしていくか。そのような環境を創っていくか。そのような環境において地方への移住が増えてきたこともあり、地方を担っている農業の魅力をもっと知ってもらうことが大事。これからも農林水産業の発展に向け共に頑張っていきたいと思います。と力強いお言葉をいただきました。国民の食料を安定的に供給し続ける生産現場の取り組みを後押しすることで、生産基盤と食料安全保障の強化を図ることに繋がります。引き続き農業の発展に向けて頑張りま



▶ 予算委員会質疑の様子

全国・県農政連推薦
参議院議員山田としおの

農政問題に斬り込む

「農林水産委員会」

「コメ政策を質疑」

1年前の決算委員会の質疑の後、久しぶりに質疑しました。

野上大臣は、現下のコメの状況の困難を把握されていて、初めての大臣とは思えない、力強い答弁を頂きました。必ずや、我が国の中心作物であり、国民の主食であるコメを取り巻く困難な状況を乗り切ってくれる大臣です。

野上大臣は、大変よく勉強されており、一つ一つの質問にも、丁寧に答えていただきました。

このコメを取り巻く心配な事態を乗り切るには、在庫を抱え込まないという政府の政策はもともともであるが、しかし、その結果、余剰米が市場に出ると米価は大変な下がり方をします。今の状況は、平成25〜26年産と同様の米価暴落の図式を招きかねないのです。

それは絶対に避けなければならぬのであって、そのためには、政策として、JA・生産者・流通関係者の取り組みが欠かせないのです。

- ① JA・生産者は、きちんと今年の生産調整を実施すること。麦や大豆や野菜等の作付けが必要です。
- ② そして、政府は、過剰米の輸出、飼料用米や米粉など新しい用途へ仕向けること。

③ 政府が在庫として積み上げることにも必要です。

そして、来年の生産調整の取り組みに、さらなる工夫が必要で、これは、輸出や飼料用米への仕向け、水田の牧草栽培等、耕畜連携の取り組みです。

また、他の作物への転換や定着対策も必要です。そのための収入保険の充実や、耕畜連携、輸出・加工米等への対策など、新しい助成体系も作り上げることが必要です。

全国的な需給計画から外れて、大々的なコメ作りを行い、安売りするみたいな取り組みを許してしまつと、これは大混乱します。

主食たるコメについて、節度ある、計画的な生産・流通・販売が必要で、これも政府の役割であり責任です。規制改革推進会議等の言う通り、自由な生産・流通・販売を許してはいけないのです。それだと、一気に価格は暴落し、日本の水田農業は荒廃します。



▲ 農林水産委員会でコメ政策について野上大臣に質疑

参議院議員

Fujiki Shinya
activity report

藤木しんや



活

動

報

告



参議院予算委員会時、
菅総理大臣からの答弁



参議院予算委員会時、質疑の様子



自民党熊本県連
衆議院議員選挙選対発足式で挨拶



自民党水田農業振興議員連盟
にて質問



JAグループ・農政推進セミナーで
国政報告



JA全国女性協より推薦



JA全青協より推薦

- 新型コロナウイルス対策に全力で
立ち向かっています
- より二層農政に多様な
農家の声を反映させます
- 農業と地域の未来に挑戦します

